

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 清水の里

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 09 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族の面会や行事参加時に、職員が家族と話し合う機会を作り、利用者の健康状態や、これからの介護について説明しているが、話し合いの少ない家族とも、情報を共有して意見や、要望が出せる関係を築いていく。	ホーム便りを復活し、ホームの運営や利用者の暮らしぶりを、全家族に提供し、今以上の信頼関係を構築し、家族が、相談や悩みを、話せる関係を確立していく。	12ヶ月
2		今後のグループホームのあり方について	日常生活が出来て、共同生活が出来の方が利用出来る環境から、看取り介護まで実施していく体制に広がり、同じ職員の数で、重度化や終末期に対応していくための検討をしていく。	利用者一人ひとりの介護サービスの内容を、再度検討し、過剰なサービスが、利用者の自立支援の妨げにならないように、職員間で話し合い、利用者の身体機能維持と、生きがいに繋がる、目標を持った暮らしの支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。